

それぞれの活動の 魅力を再発見

市民活動交流フェスタ2019

2月17日(日)、市民会館で市民活動センター(のぼりん)の利用団体が活動の魅力を伝える『市民活動交流フェスタ2019』(市民活動センター主催)が開催されました。

この日は、26団体が参加。ステージでは、江戸芸登別かつぼれ道場による『かつぼれ』を皮切りに、9団体が練習の成果を発表したほか、作品の展示や販売、活動体験などが行われ、来場した市民はもちろん、普段からのぼりんを利用している団体会員も、他団体の作品などにふれ、新たな活動への意欲を高めていました。

2/17



▲さまざまな団体によるステージ発表に見入る観客

手話という一つの言語

めくもりある手話フェスティバル

2月24日(日)、市民会館で『第3回めくもりある手話フェスティバル』(同実行委員会主催)が開催されました。

同フェスティバルでは、登別聴覚障がい者協会の高橋こずえさんによる『ろう学校の思い出』をテーマとした講話のほか、基本的な手話の講座や音楽に合わせて手話で歌詞を伝える『手話コーラス』などを行いながら、参加者同士で交流。参加者は、3歳のときにかかった風疹によって聴覚に障がいをもったという高橋さんの学校生活の話などを聞き、手話への理解を深めていました。

2/24



▲グループに分かれて、手話で自己紹介を行う参加者



▲署名した協定書を交わす東京海上日動火災保険株式会社北海道支店長の細川知巳さん(左)

地域社会の発展へ

地方創生に関する包括連携協定 締結式

2月22日(金)、登別市と東京海上日動火災保険株式会社は、地域課題の解決など、共に連携してまちづくりに取り組む『地方創生に関する包括連携協定』を締結しました。

同協定は、地域や暮らしの安全・安心に関することをはじめ、防災・災害対策、観光振興、産業振興など、6項目について連携を図りながら、取り組みを進めていくもので、同社との包括連携協定は、道内の自治体では初めてとなります。

今後、市は小学生向けの防災教室などを連携して行う予定です。

2/22

地域をつなぐ新たな行事

あおば冬祭り

2月24日(日)、青葉小学校で『第1回あおば冬祭り』(あおば元気な会主催)が行われました。

温暖化などの影響により、平成28年度で30年の歴史に幕を閉じた『青葉スケートリンク』。スケート事業を通して築いてきた地域のきずなを大切に、盛り上げていこうと地域の人々が集まり、企画された『あおば冬祭り』では、厚真町で発案されたという『雪上3本綱引き』や雪中宝探し、フリーマーケットなどが行

われたほか、ココアや焼きいもが振る舞われました。

雪上3本綱引きに参加した梅津琉愛さん(青葉小2年)は、「最初は負けたけど、2回目は勝てて楽しかった」と笑顔を見せていました。



▶雪上で力を合わせて綱を引く子どもたち